一般質問通告書

受領日時 令和7年8月19日 午後5時00分

6番 氏名 佐沢 由佳子

質問項目	質問の要旨
1 ホームページの改善を	<p>(1) 現在の五城目町のホームページは、情報が分かりづらく、目的のページにたどり着くまでに手間がかかる。リンク先は多数あるが、更新が滞っている箇所も多く、情報が整理されていない印象を受ける。たとえば、「ARUCO」には古い情報が残されたままであり、観光協会のページも更新されていない。町の魅力を発信する手段としてこれでいいのか。また、「五城目移住宣言」のページ内には、空き家・空き地・空き店舗情報に加え、「あそぶ」「食べる」「まなぶ」「暮らす」「役立つ」といった分類で有益な情報が整理されているが、移住定住のリンクを開かなければそれらの情報にたどり着けない構造になっている。こうした配置では、必要な情報にアクセスしづらく、町民や情報を得ようとしている人にとって不便と言わざるを得ない。近隣の八郎潟町や三種町のホームページは、構成やデザインがすっきりしており、情報を探しやすい。町長が交代し、新たな体制となったこの機会に、ホームページの全面的な見直し・再構築を行ったらどうか。町としての見解は。</p> <p>(2) 三種町では、AI チャットボットによる問い合わせ対応をホームページに導入しているほか、「便利なサービス」というカテゴリに、公共施設予約システム、ごみ出し検索、手続きナビ、オンライン申請、申請書ダウンロード等、生活に密着した機能を多数設けている。住民目線に立った実用的な取り組みと評価できる。五城目町でも、こうしたデジタル技術を活用し、町民の利便性向上を図るべき時期に来ていると考える。DX 専門監の助言・協力も得ながら、計画的かつ効果的に進めていく必要がある。町として、今後どのような方針・計画のもとでDXを推進していくのか、具体的な考えを問う。</p>

<p>2 公共施設使用料の見直しを</p>	<p>(1) スポーツ少年団や部活動による公共施設の使用料について。</p> <p>特に、広域体育館やスパークの利用に関して、児童生徒数の減少に伴い部費の中で施設使用料の負担が大きく、練習試合の開催も費用面から難しいとの声がある。近隣市町村では、同町のスポ少や部活動について体育館や公民館の使用料を免除している例がある。例えば、八郎潟町では減免措置により無料で使用しており、能代市総合体育館でも条例により中学生以下の使用は無料と定められている。本町としても、子どもたちの健全な育成を支援する観点から、スポーツ少年団や部活動における生徒児童の公共施設使用料の無償化を検討してはどうか。</p> <p>(2) 温水プールの使用料について。</p> <p>温水プールは燃料費の高騰や老朽化の修繕費など、今後も経費がかかり増しすることが予想される。秋田県内の温水プールでは、一般の利用料は500円程度のところが多いと思う。200円では安すぎるのではないかと思う。</p> <p>値上げで町民の負担が増え、集客が減ってしまっは望んでいることではないため慎重になる必要があることではあるが。</p> <p>こんなに立派な施設がしかも低価格で利用できることを積極的に周知し利用促進に努めるべきと考える。町としての考えを問う。</p>
<p>3 介護予防を強化しよう</p>	<p>(1) 温水プールには歩行用のプールがあり、改築当初には介護予防や健康増進の目的があったと思う。町としてももっと積極的に活用すべき。コロナ流行も落ち着き、水害の影響での故障もひと段落ついた。もっと町の事業にも温水プールを活用すべきと考えるが今後の予定は。</p> <p>(2) インターバル速歩という信州大学の教授が考案したウォーキング法が今注目され、ジャパニーズウォーキングと呼ばれ世界にも注目されている。早歩き3分とゆっくり歩き3分が1セットで1日5セット以上、週に4日以上推奨されている。健康効果は、体力の向上、生活習慣病、気分障害、睡眠の質、認知機能、関節痛、骨粗しょう症などの改善、熱中症予防など多岐にわたり、動きも難しくなくどんな年齢にも対応可能なことから、介護予防、</p>

	<p>生涯スポーツに最適であると考えます。</p> <p>由利本荘市では、2015年から市民に対して普及活動に取り組んでいる。その間、市民から指導員も誕生したりと新しい交流や役割も生まれているようだ。</p> <p>高齢化率が高いわが町には介護予防は重要な視点であると考えます。健康づくりの一環として取り入れてはどうか。</p>
<p>4 高校生への通学支援を</p>	<p>(1) 五城目町は立地的に、高校生になると電車通学をする人が多く、定期購入の費用は家計への負担が大きい。通学定期の補助をしている自治体もあり、五城目町も検討してはどうか。</p>